

大学の魅力PRレポート

1. 研究室概要

大学名	東京都立大学		研究者	久保田 直行
			職位	教授
研究領域	知能ロボット		窓口担当	産学公連携センター
研究キーワード	サービスロボット、コミュニケーション技術、知能化技術			
住 所	〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1			
電話	042-677-2729	E-mail	soudanml@jmj.tmu.ac.jp	
FAX	042-677-5640	URL	https://kub-lab.jp/	

2. 技術PR事項

『身の回りのサービスをロボット化します』

1. 概要

近年、ICT 技術の進展に伴い、急速に知能化やロボット化が進んでいます。ヒトとヒト、ヒトとモノ、ヒトと空間を(1)物理的につなぐ「インタラクション・デザイン」、(2)情動的につなぐ「コミュニケーション・デザイン」、(3)感性的につなぐ「エクスペリエンス・デザイン」を考えながら、身の回りの様々なサービスをシームレスに繋げるためのサービスロボットの開発を行っています。アイデアは、自然と「生まれる」ものではなく、「生み出せる」もの、「創り出せる」ものであり、デザイン思考とシステム思考に基づき、社会で抱えている様々な問題を対象とした要求分析からプロトタイプの開発までを行っています。

- (1)インタラクション・デザイン： 日常生活での手渡し動作を行うロボットパートナー、日常の移動を支える電動カート、リハビリテーション支援システムなど物理的なインタラクションに関する研究開発
- (2)コミュニケーション・デザイン： 人間とロボットの自然なコミュニケーションを実現するための対話システムや情報支援システムに関する研究開発
- (3)エクスペリエンス・デザイン： 「どのような人」を「どのような人」にしたいのかを考え、より良い体験を生み出すためのインタラクションパターンとコミュニケーションパターンに基づくサービスとコンテンツに関する研究開発



見守りロボット

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ 高齢者の見守りや健康づくり支援などの介護福祉、リハビリテーション支援、空港や商店街での案内・推薦・情報支援などを対象に、スマートデバイスを用いた組込みシステムやサービスロボットに関する研究開発を希望します。
- ◆ 知能化技術やロボット技術、IoT、人間とのコミュニケーションやインタラクションの他、スマートデバイスを用いたサービスに関する相談をいつでもお待ちしております。

3. 特記事項

●要求分析からプロトタイプの開発までを行うサービスロボットインキュベーション Hub(*serBOTinQ*)と社会実証実験などを行うコミュニティ・セントリック・システム研究センターが連携しながら、研究開発と評価を行っています。